

平成21年7月22日

高松市長 大西秀人 殿

高松市香南地区地域審議会  
会長 赤松千壽



建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に  
関する意見の取りまとめについて（回答）

盛夏の候 貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろは、本地域審議会の運営等につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く  
お礼申し上げます。

さて、平成21年5月15日付け高地政第73号で御依頼のありました、建設計画に  
係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見の取りまとめについて、  
下記のとおり意見集約を図りましたので回答いたします。

#### 記

##### 1 提出書類

建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見について

# 建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
1	県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備	<p>香南町と香川町の地域課題の解消が図られ、県道網の補完にもつながる生活基幹道路として、市道下川原北線を市道城渡吉光線まで西に470m延伸するための、道路および香東川橋梁工事の予算化が決定したものの、県道三木綾川線バイパスルート（仮称）については今後の検討課題とされています。</p> <p>しかし、高松空港を結ぶ県道および市道と連携した交通ネットワークの強化のためには、市道として整備が決定した部分から西へ延伸する必要があり、県道円座香南線、また、更に西へ延伸し県道千疋高松線までの道路が完成すれば、生活の利便性が格段に向上し、地域が大きく活性化することはもちろん、香川町から香南町を経由し、岡本町や国分寺町方面へ抜ける新たなルートとなります。</p> <p>このことから、高松空港をはじめ、高松西インターチェンジや将来建設予定の新高松市民病院への重要なアクセス道路として、県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備を、事業主体である香川県に対して強い働きかけをされるよう要望するものです。</p>
2	市道の整備	<p>建設計画に掲載されている市道16路線について、建設計画の期間内に完成されるよう要望するものです。</p> <p>特に、香東川橋梁工事の事業着手に併せて、市道大股線との連絡道路として、市道城渡吉光線の未整備区間の早期整備と、合併特例債を活用した、香東川橋梁と県道円座香南線を東西に結ぶ市道の整備を強く要望するものです。</p>
3	空港周辺地域における将来像の検討	<p>次の事業を含めた、高松空港周辺地域における将来像を検討されるよう要望しているところですが、現在までの検討状況と今後の見通しについて、御説明いただくよう併せて要望するものです。</p> <p>第1点目が、道州制時代に中枢拠点性を担えるまちの実現を目指す目的で、高松空港という空の玄関機能と田園環境を活かした質の高い持続可能なコンパクトシティを、市内中心部と高松空港を結ぶ線上である香南地区内に形成する。</p> <p>第2点目が、道州制を見据えると、本市の優位性を更に高め、拠点性を発揮できる都市機能の形成を図る必要があることから、四国の交通結節点として、より一層、高松空港の利便性・拠点性を高めるため、航空路線網の拡大など高松空港の機能強化を図るとともに、高松空港と高松駅を直結するガイドウェイバス等の新たな公共交通機関の整備を行う。</p> <p>第3点目が、高松空港に近接するという立地条件を活かし、高松空港周辺の遊休地等を利用した各種公益施設の誘致を行う。</p>
4	香南小学校大規模改修工事の早期着工	<p>香南小学校の大規模改修工事については、市内全ての小・中学校および幼稚園の耐震化が完了後、その老朽度や緊急度を考慮しながら適切に対応していくとのことですが、香南小学校の大規模改修工事については、合併特例債などの有利な財源を活用することが可能であり、建設計画の期間内に完成されるよう要望するものです。</p>

建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
5	香南保育所・幼稚園における幼保一体化の推進	香南保育所・幼稚園の建替工事については、平成21年度中に幼保一体化施設としての基本設計の策定が決定していますが、ハード面の施設整備と並行してソフト面の充実がなければ成果は上がりません。幼稚園、保育所それぞれの設置目的にあった管理運営と交流活動等が円滑に移行できるよう、今後、関連部署が連携し、幼稚園・保育所や保護者や地域と十分に協議しながら、幼保一体化推進計画を策定されるよう要望するものです。
6	香南支所・公民館建替工事の推進	香南公民館においては、今後、コミュニティセンターへの移行により、これまでの生涯学習の拠点施設と併せ、地域まちづくりの拠点施設としての機能と役割を担う地域コミュニティの重要な施設となります。 香南支所建替工事に併せた香南公民館の建替えについては、これまで積み上げてきた各種の生涯学習や地域まちづくり活動の実績と成果を踏まえ、それを継続発展できる施設として、また、地域住民のニーズに応えられる施設として整備されるよう要望するものです。
7	香川町シャトルバスの継続運行	香川町シャトルバスが香南町まで延伸され運行されていますが、利用率は依然として厳しい状況です。 しかし、高齢者等交通弱者の公共交通の利便性を確保するためにも、運行を継続するとともに、地域住民のニーズに即した利用しやすい運行形態へ改善されるよう要望するものです。
8	CATVの香南地区へのエリア拡大	平成22年3月にサービスを開始予定のケーブルテレビについて、全ての住民が情報化の恩恵を受けられるよう香南地区の視聴可能エリア・カバー率を100%にされるよう要望するものです。 また、サービス開始に当たっては、利用料金を低く設定するなど、各世帯が加入しやすい環境づくりに努められるよう併せて要望するものです。
9	南部地域における特色あるスポーツ施設の整備	高松市中心部から大きく離れる南部地域の活性化と市民スポーツの振興のため、整備に当たっては、建設計画にある「南部地域の核となる特色あるスポーツ施設」として、ふさわしい施設となるよう要望するものです。 また、地域審議会や関係スポーツ団体等の意見を十分に反映し、速やかに実現されるよう要望するものです。
10	校区内防犯ネットワークシステムの充実	香南地区においては、保育所・幼稚園・小学校・中学校が隣接していることから、不審者の侵入等の事案が発生した場合には、施設間の連携を強化して、引き続き児童・生徒等の安全確保を一層図っていくよう、校区内防犯ネットワークシステムの充実を要望するものです。

## 建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番 号	項 目	意 見 の 内 容
11	県道の整備	<p>県道三木綾川線については交通量が非常に多く、しかも車歩道の分離がなく危険な箇所があるため、歩道を整備し、歩行者の安全を確保するとともに、右折車線がなく、慢性的な朝夕の交通渋滞をきたす南原交差点については、渋滞を解消するための交差点改良工事を早期に実施するよう、道路管理者である香川県に対して強い働きかけを要望するものです。</p> <p>また、県道円座香南線についても、車歩道の分離がなく危険な箇所があるため、歩道の整備を要望するものです。</p>
12	水道管網の整備	<p>県道円座香南線の香南町由佐「バス停西光寺前」から川部町までの間に、旧高松市域との連絡管として、また、非常時に備えた重要管路のバイパス管として、配水管の早期布設を要望するものです。</p>
13	防災行政無線を利用した一般広報の継続運用	<p>香南地区では15年以上も前から屋外スピーカーと各家庭の戸別受信機を使って、防災行政無線を利用した一般広報が行われていますが、住民の日々の暮らしに役立つ有益な情報が数多く、毎日の生活には絶対欠かせないものになっています。</p> <p>また、高齢化が急速に進展している中で、この一般広報は、耳から簡単に得られる生活情報として、高齢者の毎日の生活をしっかりサポートもしています。</p> <p>一方で、この一般広報が廃止されると、香南支所をはじめ各種団体等にとっては最高の情報伝達手段を失うとともに、住民にとっても香南地区内の情報が入りづらくなるなど、合併後のまちづくりの面でもデメリットは大きいと思われます。</p> <p>これらのことから、防災行政無線を利用した一般広報について、将来的にも存続させるとともに、各家庭にデジタル化に対応した戸別受信機を設置されるよう要望するものです。</p>
14	支所体制の充実	<p>合併後の住民サービスの拠点として、また、新たなまちづくりの中心となる合併支所の役割は大変重要です。</p> <p>現在、高松市においては、支所・出張所のあり方について、全庁的な体制の中で検討されていると伺っていますが、合併地区の住民が安心・安全に暮らせるために、支所体制の充実を基本として検討が進められるよう要望するものです。</p> <p>特に、職員数については、減少していけばいくほど、これまでのサービスの維持が難しくなるとともに、災害時の対応への不安に加え、支所には活気が無くなり、ひいては香南地区全体が沈滞していく心配があります。</p> <p>このため、今後は将来に亘って現在の職員数を維持されるよう要望するものです。</p>